

1. 支笏火砕流堆積物分布図 GIS データについて

本支笏カルデラ支笏火砕流堆積物分布図には、GIS データ(Shapefile)が用意されている(表1)。GIS データには、各ユニットの凡例情報が、英語と日本語で埋め込まれている。ラインやポイントデータについては、層厚などのデータが属性表に示されている。GISソフト上で各ポリゴンの情報表示を行うことで、各火砕流堆積物の詳細情報を表示することができる。日本語の文字コードはUTF-8を使用している。座標系はJGD2000を与えている。拡張子ごとの各ファイルの内容を表2 に示した。

表1 GIS データのリスト

ファイル名	データの内容
alluvium_terrace_fan_talus	埋立地, 干拓地, 沖積層, 段丘堆積物, 扇状地堆積物及び崖錐堆積物
crater_rim	火口 (樽前火山及び恵庭火山)
estimated_consealed_area_of_Shikotsu_Ignimbrite	支笏火砕流堆積物推定伏在域
limited_area_exposure_points_of_Shikotsu_Ignimbrite	支笏火砕流堆積物の小規模分布 (層厚; m)
older_units	支笏噴火以前の第四紀火山噴出物, 堆積物及び先第四系
other_volcanic_eruption_products	その他の火山噴出物 (羊蹄火山, ニセコ火山群及び倶多楽火山群の一部, 有珠火山)
post-caldera_eruption_products	後カルデラ火山噴出物 (樽前火山, 恵庭火山及び風不死火山)
Shadai_Ignimbrite	社台火砕流堆積物
Shikotsu_Caldera_rim	カルデラ縁 (支笏カルデラ)
Shikotsu_Ignimbrite_Lower_Unit	支笏火砕流堆積物 下部ユニット
Shikotsu_Ignimbrite_MP_ML	支笏火砕流堆積物中の軽石・石質岩片の最大粒径 (軽石/岩片 ; mm)
Shikotsu_Ignimbrite_reconstructed_surface_level	支笏火砕流堆積物の堆積原面の等高線 (m)
Shikotsu_Ignimbrite_thickness	支笏火砕流堆積物の層厚 (ボーリングコア及び現地調査による ; 層厚 ; m)
Shikotsu_Ignimbrite_Upper_Unit	支笏火砕流堆積物 上部ユニット
Shikotsu_Pumice_Fall_Deposit_isopach	支笏第 1 降下テフラの等層厚線 (層厚 ; cm)
Shikotsu_Pumice_Fall_Deposit_thickness	支笏第 1 降下テフラの層厚 (cm; ?は推定値)

表2 拡張子とファイル内容

拡張子	説明
.shp	分布図の本体となるファイル
.shx	分布図に関するインデックス情報を格納するファイル
.prj	座標系情報を格納するファイル
.qpj	
.dbf	属性情報を格納するテーブルファイル
.cpg	文字コードの識別コードページ指定ファイル
.lyr	ArcGIS用のスタイルファイル
.mxd	ArcGIS用の設定ファイル
.qml	QGIS用のスタイルファイル
.qgz	QGIS用の設定ファイル

動作確認環境：

下記の環境での動作確認済み。

ArcGIS 10.8.1 (Windows 10 22H2, Windows 11 21H2), QGIS 3.22.14 (Windows 10 22H2, Windows 11 21H2, macOS 12.6.2)

2. 引用・免責事項

本 GIS データを出版物や Web サイト等で利用される場合は、適切な引用をお願いします。引用例やライセンス、免責事項は以下を参照してください。

引用例：

宝田晋治・中川光弘・宮坂瑞穂・山元孝広・山崎 雅・金田泰明・下司信夫 (2022) 支笏カルデラ支笏火砕流堆積物分布図。大規模火砕流分布図, no. 2, 産総研地質調査総合センター。

ライセンス: 政府標準利用規約 (第 2.0 版) (<https://www.gsj.jp/license>)が適用されます。

免責: 産業技術総合研究所地質調査総合センターは、本データの利用によって生じたいかなる損害にも責任を負いかねます。あくまでも、利用者の自己責任においてご利用ください。

地形図、陰影起伏図、傾斜量図の表示には、国土地理院の地理院タイル (標準, 陰影起伏図, 傾斜量図)を利用しています(<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)。)